

1 被害防止計画の作成数、特徴等  
 本県では、34市町で被害防止計画が策定されている。各市町は、被害の軽減目標を達成するため、侵入防止柵の整備、被害防止目的の捕獲、緩衝地帯の整備、被害防止研修会等を実施している。

2 事業効果の発現状況  
 市町による地域住民を主体とした被害防止対策の取組及び県の神座育成の取組等により、農作物被害額はピークであった平成21年度から減少傾向にある。

3 被害防止計画の目標達成状況  
 令和5年度を被害防止計画の目標年度としたものの目標年度を1年延長し、再度事業評価を行なった2事業主体のうち、被害金額又は被害面積で目標を達成したのは1事業主体だった。

4 各事業実施地区における被害防止計画の達成状況

事業実施主体名 (協議会名)	対象地域	実施年度	対象鳥獣	事業内容	事業量	管理主体	供用開始	利用率・稼働率	事業効果	被害防止計画の目標と実績							事業実施主体の評価	第三者の意見	都道府県の評価							
										被害金額(千円)			被害面積(a)													
										年度	獣種	目標値	実績値	達成率	目標値	実績値				達成率						
袋井市有害鳥獣対策協議会	袋井市	令和3年度～令和5年度	イノシシ ハクビシン カラス ニホンジカ	(R3) センサーカメラ8基	袋井市有害鳥獣対策協議会	—	R3.3.26～	—	センサーカメラを購入することで、推進体制の整備及び有害捕獲を行った。	R5	イノシシ	1707	2468	-300.50%	101	157	-366.70%	推進事業により購入したセンサーカメラ及び箱わなで捕獲を実施することにより被害の軽減を図った。 本計画期間中において、捕獲個体数が増加した。(イノシシR3=86頭、R6=173頭) 市独自で実施している対策資材への補助制度の利用者が増加傾向にあることから、被害金額及び被害面積が減少しており、引き続き対策を普及させるとともに捕獲等の活動も継続する。	昨年度と比較し、被害金額及び被害面積が減少していることは評価できる。しかし、目標や基準年の被害面積を上回ってしまっている。捕獲に重点を置いた事業を実施しているが、侵入防止柵の推進や地域ぐるみの対策に係わる事業の展開も必要と考える。また捕獲においても加害獣の捕獲が進むように農業者自身での捕獲の推進を期待したい。(静岡県農林技術研究所 森林・林業研究センター 上席研究員 神谷健太)	捕獲事業の取組では、捕獲個体数が増加しており、昨年度より被害金額、被害面積共に減少している。しかし、被害面積の目標値は達成出来ていないため、今後、捕獲以外にも地域住民に鳥獣を誘引する農作物残渣や生活ごみ、放任果樹等の適正な処理など鳥獣を寄せ付けにくい環境づくりの取り組みにも期待したい。						
				(R4) センサーカメラ7基			R4.3.23～				—	カラス	23	0	12.5	7	0				8					
		(R5) センサーカメラ7基		R5.3.14～			—				ハクビシン	95	618	-4654.50%	0.9	39	-38000.00%									
		(R6) 有害鳥獣捕獲看板5本 イノシシ用箱わな3基 小動物(タヌキ、ハクビシン)用箱わな2基		袋井市有害鳥獣対策協議会	—	R7.3.31～	—	合計	1825		3086	-521.20%	108.9	196	-564.90%											
		(R3) イノシシ 成獣:44 幼獣:42				—		—	—		イノシシ	1707	1387	268%	101	158	-375%									
		(R4) イノシシ 成獣:97 幼獣:19				—		—	—		カラス	23	0	1250%	7	0	800%									
		令和3年度～令和5年度		緊急捕獲活動支援事業	(R5) イノシシ 成獣:83 幼獣:42	—	—	—	緊急捕獲を実施することで個体数の減少に努めた。		R6	ハクビシン	95	27	718%	0.9	5				-4000%					
					(R6) イノシシ 成獣:121 幼獣:52 ニホンジカ 成獣:3頭	—	—	—	合計		1825	1414	303%	108.9	163	-313%										
		菊川市有害鳥獣対策協議会		菊川市	令和3年度～令和5年度	イノシシ ハクビシン カラス	(R3) ハクビシン捕獲用はこわな6基購入 捕獲用暗視カメラ6台購入 捕獲用発信機・受信機1セット購入 捕獲用GPSマーカ-1セット購入 捕獲用センサーカメラ2台購入	菊川市有害鳥獣対策協議会	—		R4.3.3 R4.2.3 R4.3.3 R4.2.17 R42.24	—	(R5) イノシシについては目撃情報が寄せられる地域が年々拡大する中で、被害防止のため捕獲機材の導入及び貸与を実施し、捕獲数の増加に努めている。令和3年度はCSFの影響により捕獲数が大幅に減少したが、令和4年1月以降は捕獲数が急増しており、捕獲頭数も併せて増加している。 令和5年度は被害面積・金額ともに大幅に増加しており、生息数が更に増加していることが見受けられる。ハクビシン・カラスについては被害の発生状況により必要に応じ捕獲を実施しており、その際資機材の貸与を行っている。	R5	イノシシ	3625	10508				-1608%	211	339	-433%	(R5) 令和3年度、4年R5度については目標値を下回る点について評価出来る。捕獲に係わる事業を重点的に実施されているが、農地周辺で加害獣の捕獲を実施するとより効果的であると考えられる。猟友会と連携を密にすることで被害地での捕獲が進むことを期待する。また集落の中のエサ資源を減らし、鳥獣を寄せ付けられないようにすることも重要であるため、近隣住民へ更なる意識啓発を期待したい。(静岡県農林技術研究所 森林・林業研究センター 上席研究員 神谷健太)	被害金額、被害面積ともに前年度を下回っている点について評価出来る。目標値を上回る結果となった。 今後は、捕獲以外にも地域住民に鳥獣を誘引する農作物残渣や生活ごみ、放任果樹等の適正な処理など鳥獣を寄せ付けにくい環境づくりの取り組みにも期待したい
							(R4) ハクビシン捕獲用はこわな4基購入 捕獲用機材(狩猟犬用ドッグマーカ-)1セット購入 捕獲用機材(はこわな用電動トリガー)1セット購入				R5.2.20 R4.12.8 R4.12.8				—	ハクビシン	290				4176	-12044%	13	101		
(R5) くくり罠5基購入 捕獲用機材(狩猟犬用ドッグマーカ-)1セット購入	R6.1.29 R6.2.9		—				カラス			308	2376				-5809%	13	54	-1950%								
(R6) 捕獲用プロテクショングローブ4双購入 ハクビシン捕獲用はこわな3基購入 くくり罠14基購入 捕獲用機材(狩猟犬用ドッグマーカ-)1セット購入 捕獲用赤外線センサー	菊川市有害鳥獣対策協議会		—				R6.12.3 R6.12.9 R7.2.20 R7.3.23	—	合計	4223	17060	-2631%			237	494	-818%									
(R3) イノシシ 94頭 ハクビシン 8頭							—		—	—	イノシシ	3625			8509	-1112%	211	282	-196%							
(R4) イノシシ 160頭 ハクビシン 4頭							—		—	—	ハクビシン	290			2323	-6253%	13	49	-1700%							
令和3年度～令和5年度	緊急捕獲活動支援事業		(R5) イノシシ 165頭 ハクビシン 1頭				—	—	—	カラス	308	1050			-2020%	13	21	-300%								
			(R6) イノシシ 160頭 ハクビシン 1頭				—	—	—	合計	4223	11882			-1530%	237	352	-311%								